

研究タイトル：**英語ができる高専生の育成
・男女共同参画社会を目指して**



氏名：	竹内 素子 / TAKEUCHI Motoko	E-mail：	motoko@sendai-nct.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(文学)
所属学会・協会：	全国英語教育学会, 全国高等専門学校英語教育学会, 日本女性学研究会, 国際L・M・モンゴメリ学会		
研究分野：	英語教育, 第二言語習得, 女性学		
キーワード：	アクティブ・ラーニング, 英語統語構造の定着, 女性文化研究(日記翻訳)		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定(TOEIC・工業英検など)の指導 ・翻訳 ・今さら聞くに聞けない中学英語の指導 		

研究内容：

【研究課題・シーズ】

- ・アクティブ・ラーニングの実践
- ・英語統語構造の定着
- ・女性文化研究(L. M. モンゴメリの日記翻訳)

●高専生の英語運用能力を向上させるために

1. アクティブ・ラーニングの実践

○英語プレゼンテーション(英語ⅡA:2年)

- ・各クラス, 5~6人のグループに分け, テキストで取り上げられているトピックから選んだテーマについて英語で発表させている。具体的には, 授業時間内にLLでディスカッション, 発表原稿・資料の作成といったグループワークを取り入れている。資料作成のために閲覧できるHPは各国政府, 公共機関, 新聞および各国大学の英語版に限定し, グループごとにPower Pointを使い発表させている。
- ・評価は学生が相互に点数をつけ, その平均を各グループの評点としている。

○反転授業(英語ⅢA:3年)

- ・各クラスを5~6人のグループに分け, グループごとにテキストを分担させ, プレゼンさせている。その際, 発表前にハンドアウトを準備させ, 各グループはそれを使ってその解釈・用語解説を行う。
- ・各グループはクラスの学生や教員から質問や意見を受け, 発表内容の訂正も行う。

2. 英語統語構造の定着

- 自学自習が可能なパターン・プラクティスではなく, 語順がある程度決定している英語という言葉の仕組みを理解するのに必要な品詞, 動詞, 準動詞, 重要構文の定着を目指している。これは卒業後も学生が英語運用能力を高める上で重要な基礎となり得る。

●男女共同参画社会の実現に向けて女性学の観点から女性の置かれてきた社会的背景を読み解く

- ・日本のある一定の世代に人気の高い翻訳文学をフィルターとし, 近代から現代に至るまで女性が置かれてきた社会的背景を考察するため, その作者L. M. モンゴメリの日記翻訳を行っている。
- ・この日記は少女時代から50数年に渡り記されており, ビクトリア朝末期から20世紀にかけての女性の地位を読み解くための第一級資料であると考えられている。

* 竹内素子・藤樹由実子「赤毛のアンの人気 -『赤毛のアン』は誰のもの?-」女性学年報第34号, 日本女性学研究会, pp. 104-123.



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	